41 01 08 02 01 006

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月13日（木）

事務事業	橋りょう維持管理事業	担当課	道路管理課	担当係	橋りょう維持係	管理番号	4135
第２次総合計画 行政施策分野別名		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
大項目	200005 快適で利便性の高いまち（都市・生活基盤）	根拠法令個別計画等	道路法 道路法施行令 道路法施行規則 道路橋定期点検要領 深谷市橋梁長寿命化修繕計画				
中項目	200002 交通アクセスの便利なまちづくり						
小項目	200001 道路・交通環境整備の推進						

事業概要	市内の道路橋を適切に管理するため、法令に基づく点検を行うとともに、長寿命化に向けた、調査・設計、補修を行うものである。
目的 ※何のために	橋梁の損傷を早期に発見・対応することで、市民の生活や一般交通に支障を及ぼさないよう維持管理するため。
対象 ※誰・何を対象に	深谷市が管理する橋長２ｍ以上の橋
手段 ※どのように	定期点検、調査・設計、補修工事を実施する。
成果 ※何を求めるか	橋梁の状況を確認するとともに長寿命化を図る。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	08	土木費	02	道路橋りょう費	01	道路維持費	橋りょう維持管理事業	213,242,125
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 橋りょう維持修繕工事	・
・ 橋りょうの緊急修繕	・
・ 橋りょう管理台帳	・
・ 橋りょうパトロール	・
・ 道路法第２２条による原因者負担工事等	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分			平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			橋梁補修工事（１３橋）	橋梁点検業務 橋梁補修・耐震補強設計業務 橋梁補修・耐震補強工事	橋梁点検業務 橋梁補修設計業務 橋梁補修・耐震補強工事	橋梁点検業務 橋梁補修・耐震補強工事	橋梁点検業務 橋梁補修設計業務 橋梁補修・耐震補強工事	橋梁点検業務 橋梁補修・耐震補強工事
事業費	予算（現額）		310,803,000	382,112,000	374,327,000	266,053,000	281,869,000	164,532,000
	決算額		272,906,993	294,132,820	263,284,253	213,242,125	0	0
	財源内訳	国支出金	105,140,000	134,414,000	125,393,000	90,434,000	93,720,000	52,000,000
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	49,800,000	89,100,000	139,600,000	56,800,000
		他特定財源	0	0	0	0	0	0
		一般財源	167,766,993	159,718,820	88,091,253	33,708,125	48,549,000	55,732,000
人件費	従事職員数（人）		1.95	2.45	1.95	2.40	2.00	2.00
	人件費相当試算 ※１		15,169,050	19,065,900	15,804,750	19,526,400	16,272,000	16,272,000
			0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）			288,076,043	313,198,720	279,089,003	232,768,525	298,141,000	180,804,000

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名	目標値／実績値	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	定期点検を実施した橋梁	目標値	橋	173.00	112.00	180.00	175.00	174.00	0.00	□
			実績値		201.00	132.00	181.00	174.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		法定定期点検５ヶ年サイクルに基づき設定している。							
		法定定期点検橋梁数			２０１	１３２	１８１	１７４			
□	活動指標２	補修・耐震補強を行った橋梁（補修・耐震補強工事）	目標値	橋	17.00	21.00	3.00	4.00	3.00	0.00	□
			実績値		15.00	20.00	2.00	2.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		長寿命化修繕計画及び定期点検結果に基づき設定している。							
		修繕予定橋梁数			１５	２０	２	２			
■	成果指標１	法定定期点検実施率	目標値	%	78.72	100.00	22.64	44.65	66.54	0.00	□
			実績値		84.53	100.00	22.77	44.65	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		法令定期点検に基づく点検実施率を目標値として設定している。							
		点検累計橋梁数／橋梁数×１００			６７２／７９５	７９５／７９５	１８１／７９５	３５５／７９５			
■	成果指標２	当該年度計画に基づく橋梁補修実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	□
			実績値		88.23	95.24	66.67	50.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		長寿命化修繕計画及び定期点検結果に基づく補修工事件数を目標値として設定している。							
		工事実施数／工事計画数×１００			１５／１７	２０／２１	２／３	２／４			
□	成果指標３	橋りょう維持管理上の事故件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		管理上の事故は、常に発生しないようにしている。							
		申請された件数			０	０	０	０			
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		各年度の事業内容に差異があり、目標設定に馴染まないため、目標値は設定していない。							

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動（意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 法定定期点検橋梁数はほぼ目標を達成することができた。補修・耐震補強工事については目標値は４橋であるが、予定していた２橋はすべて工事を実施することができた。
成果（意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 法定定期点検実施率及び事故件数は目標を達成することができた。橋梁補修実施率は目標値が４橋であったため達成できなかったが、予定していた２橋はすべて実施することができた。
効率性（効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	橋りょう維持係長　福地　孝明

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度改善・改革案	
達成状況及びその効果	

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	橋りょう維持管理事業	担当課	道路管理課	担当係	橋りょう維持係	管理番号	4135

□ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

法定定期点検を計画的に実施するほか、橋梁の長寿命化を図るための修繕工事と併せて、緊急輸送道路等の重要路線を跨ぐ橋梁については耐震補強工事を重点的に実施していく必要がある。

評価者	道路管理課長　宮下　昌規

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

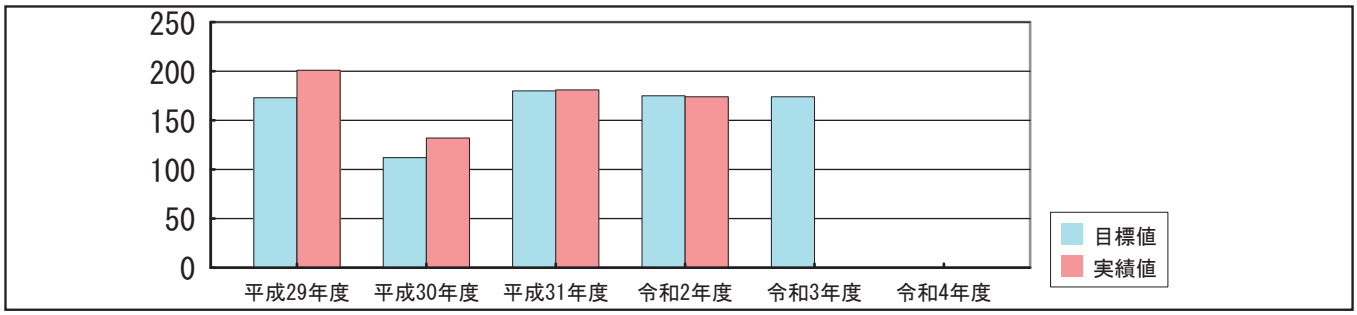
改善・改革案	今後、橋梁の修繕・架け替えに対する費用の増大が予想されるため、深谷市橋梁長寿命化修繕計画に基づく予防保全型の維持管理を行うことにより、橋梁の寿命を延命するとともに、修繕等に要するコストの縮減を図る。また、補助金の活用など財源の確保に努める。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

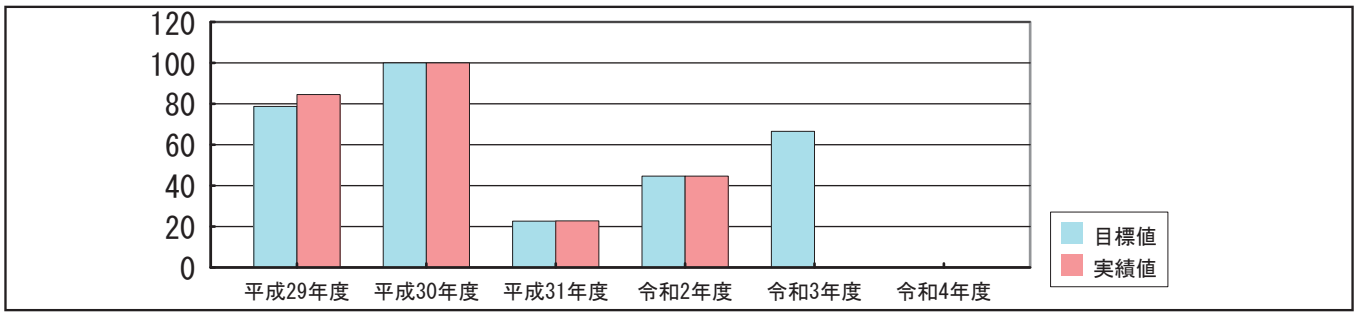
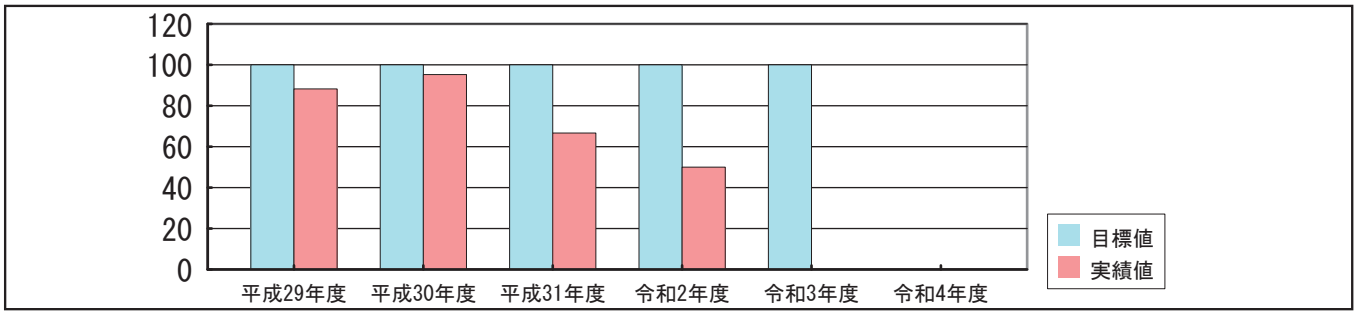
今後の課題	橋梁の計画的な修繕と併せて、大規模な地震等の災害が発生した場合に救命活動や物資輸送など重要な役割を担う緊急輸送道路等の重要路線を跨ぐ橋梁の耐震補強を優先して実施する必要があるため、多額の費用を要する。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	定期点検を実施した橋梁



区分	成果指標１	指標名	法定定期点検実施率



区分	成果指標２	指標名	当該年度計画に基づく橋梁補修実施率